

平成 30 年度 こども園ほんべつの教育・保育活動等に対する学校評価
(教員自己評価に対する保護者評価結果)

幼保連携型認定こども園ほんべつ

学校法人鉦路カトリック学園 幼保連携型認定こども園ほんべつは、平成 29 年度より「子ども・子育て支援新制度」のもと、0 歳児から 5 歳児までの教育・保育を行う幼保連携型認定こども園を開設しました。

保護者の会の皆様のご協力をいただき、子ども達にとっても素晴らしい 1 年となりましたこととても感謝しております。

今後とも社会のニーズに応えられる施設として、さらなる園児への教育・保育の質の保証及び向上を目指し、教職員一丸となって邁進して参る所存でございます。

さて、この度、教育・保育の理念、教育・保育方針、教育・保育目標等をはじめとする教育・保育及び認定こども園運営について自己評価を実施し、さらに保護者の皆様にも評価をいただき、かつ的確なご意見、ご指導を賜りありがとうございました。

「平成 30 年度こども園ほんべつの教育・保育活動等に対する学校評価(教員自己評価に対する保護者評価)結果」については下記の通りです。こちらは当園のホームページにも公表いたしました。

幼保連携型認定こども園ほんべつの更なる教育・保育活動の向上を図るうえで参考にさせていただきたいと思えます。

・配布年月日:12 月 10 日 ・配布数:116 件 ・回収数:67 件 ・回収率:58%

保護者評価

◎評価結果の表示方法

(4-もっと高くてもよい / 3-教員評価は適切である / 2-もっと低いと思う / 1-全くできていない)

評価分類	内 容	教員評価・平均点	教員評価・標準偏差	保護者評価			
				4	3	2	1

I 教育・保育方針と教育・保育目標

1	こども園の教育・保育方針と教育・保育目標			9	56		
	○こども園の教育・保育方針と教育・保育目標を理解している。	3.1	3.1	10	50	5	
	○こども園の教育・保育方針と教育・保育目標が子ども達の中に生きている。	3.1		9	54	3	
	○こども園での教育・保育の内容が教育・保育方針と目標に沿ったものになっている。	3.2					

II 教育課程・指導計画

				13	49	3	
	○月案や週日案に基づいた計画的な教育・保育を進めている。	3.2	3.1	8	54	2	1
	○こども園の教育課程・指導計画は必要に応じて見直している。	3.1					

III 教育環境

1	教育環境の推進			28	37	1	
	○安全で清潔感のある環境を構成する。	3.6	3.3	20	43	3	
	○子どものしたいことや興味のあることを取り入れるようにしている。	3.5		16	47	3	
	○教育・保育に周りの自然や施設を活用している。	3.2		13	49	3	
	○子どもの思いや言動を参考にしながら、保育室の装飾や展示を考えている。	2.9		10	47	4	1
2	安全への配慮						
	○園内に危険な箇所がないか、危険な遊び方をしていないか常に配慮し、危険が予測される場合は安全な遊び方について、幼児と一緒に考える。	3.4					

IV 教育・保育の在り方

1	教育・保育の内容と方法			12	51	3	
	○幼児の家庭での様子を参考にしながら、援助の内容を工夫している。	3.3	3.1	16	50		
	○遊びを通してルールを学んだり、我慢したりといった経験を積めるようにしている。	3.4					

	○幼児が意欲的に造形活動(描画、製作など)をする時間を大切にしている。	2.9		16	45	5	
2 幼児の理解	○一人ひとりの幼児をよく観察すると同時に周囲にも目を配る。	3.1		12	47	7	
	○個々の幼児の発達の様子や課題について、見直しをもって理解する。	3.1		10	49	6	
3. 指導との関わり	○幼児一人ひとりのありのままの姿を受け入れ、その子の良さを認めるように心がける。	3.1		15	48	3	
	○幼児の年齢に応じた援助の仕方を工夫する。	3.2		11	53	1	
4 同士の協力・連携	○幼児のことについて保育者同士で話し合い、共通理解をするよう心掛けている。	3.6		19	40	5	
	○教育・保育実践について、積極的に他の保育者に助言を求めた話し合い、理解について努めている。	3.4		15	47	2	

V 保育者としての資質と能力

1 保育者としての能力・姿勢	○子どもの発達段階や興味・関心に応じた保育を心がけている。	3.1	3.3	11	53	1	
	○一人ひとりを大切に受け止めた指導を心がけている。	3.2		14	49	3	
	○相手の思いを受け止め、豊かな人間関係をつくることのできる子どもを育てるための指導を行っている。	2.9		8	54	4	
	○すべての幼児に平等に接するように心がけている。	3.4		9	52	4	
2 組織の一員としての在り方	○職員全員で一つのチームであることを自覚する。	3.6		13	47	4	1
	○子どものこと、クラスの出来事などで必要なことは園長や主任に報告、連絡、相談する。	3.7		13	48	2	
3 保育の楽しみ・喜び	○子供の成長を自分の喜びに感じる。	3.6		17	45	2	
4 評価・反省	○自分の教育・保育を評価・反省することで、次の教育・保育に生かす。	3		5	56	3	

VI 保護者との連携と対応

1 情報の発信と受信	○保護者から寄せられた具体的な意見や要望は心を開いてよく話を聞くように心がけ、適切に対応している。	3.2	3.1	15	50	2	
	○行事予定やクラスだよりなど、主として保護者を対象としたこども園の情報、適切に伝えることができている。	2.9		17	45	5	
2 対応上のマナー、心構え	○その場にふさわしい言葉遣いができる。	2.9		11	51	2	1
	○保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に報告・連絡・相談する。	3.3		10	51	4	

VII 地域の自然や社会との関わり

1 地域の自然・人々との関わり	○地域の人々と親しく挨拶や会話を交わすように心がけている。	3.2	3.1	10	54	1	1
	○幼児の教育・保育にこども園の周りの自然や施設を活用している。	3.1		9	54	2	

VIII 研修と研究

1 研修・研究への意欲・態度	○自分の教育・保育について自己課題を持って評価、反省を行う。	2.9	2.8	7	53	4	
	○幼児の発達理論を学び、保育に生かすための研修、研究を行う。	2.6		7	52	5	

■評価結果

保護者の皆さんの評価では「教員の自己評価は適切」との評価を多くいただきました。しかし「もっと低いと思う」が各項目によってばらつきもありますが1項目に1~7件あり、「全くできていない」に関しては、5つの項目で1件ずつありました。

また、頂戴いたしましたご意見等につきましては、謙虚に受け止めより充実させていくべきところ、見直すべきところなどを検討し、今後の教育保育活動の充実へと結び付けていきたいと思っております。

今後とも教職員一同より一層努力してまいりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。